学校番号	T3011

令和２年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	"家庭基礎　自立・共生・創造　　東京書籍"						
副教材等	プリント等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

豊かな人生を送る上で欠かすことのできない、人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などを中心に学習します。

定期考査だけではなく、毎回の授業態度、実習、演習への参加意欲、態度も重視するので、積極的に授業に参加してください。

現在、もしくは将来の生活において、その中での問題点を発見・理解し、改善の方法を具体的に考えることができる様、知識や技能を身に付けられるように頑張ってください。

①教室移動があり、学習内容によって教室が異なります。事前の連絡に注意し、遅刻しないように集合してください。調理実習の遅刻は班員全員に迷惑がかかりますので特に注意してください。

②実習中の危険行為は大きな事故につながる事もありますので、注意してください。

③提出物の期日は確実に守ってください。

※ 食物アレルギーのある人は、必ず申し出てください。

2　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などについて関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する基礎的基本的な知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 レポート 実習記録 発表 自己評価　等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 レポート 実習記録 発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 レポート 実習記録 製作物 発表 定期考査の結果 自己評価等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 レポート 実習記録 発表 定期考査の結果　等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

前期	自分らしい生き方と家族	○家庭科の学び方 ○自分を見つめる ・自己を知る ○共に生きる家族 ・ライフサイクルの視点 ○家族に関する法律 ・家族法の理念と背景 ・家族に関する法律	○	○		○	a:現在の自分のこと、将来の生活設計を考えることについて、意欲をもって取り組もうとしている。 b:図表などから家族の形、家庭のあり方や役割について、また時代とともに変化した背景について読み取ることができ、現在の家族・家庭のあり方や役割について考えを深め、表現することができる。 c:自分自身について考えるワークシートや将来についてのレポートなどを通して、自分や、人の一生についての考えをまとめることができる。 d:自分自身や現在の社会状況を客観的に知り、将来を見通した人生設計への課題をみつけることができる。 家族に関する法律についての知識を身につけている。	授業観察 ワークシート 定期考査
	子どもとかかわる	○発達のすばらしさ ・人の発達と保育 ・からだの発達 ＊妊婦体験学習 ○子どもの生活 ・子どもの成長と生活 ・子どもと遊び ＊年齢別の遊び、紙芝居から考える（研究発表） ○すこやかに育つ環境 ・子どもが育つ環境	○	○	○	○	a:子どもの世界について、自分の子どもの頃を思い起こしながら、興味・関心を持ち、子どもの生活について、積極的に子どもとかかわりながら、理解しようとする。 ・生命の尊さについて、自分の現在、将来と結びつけながら、学習しようとする意欲がある。 b:子どもの心身の発達、現在の子どもを取り巻く状況や子育ての環境について、課題を見つけ、解決への考えをまとめることができる。 c:子どもの生活やとりまく環境、また、現在の子育ての環境や地域社会や国の支援策や課題などについて、情報を収集し、まとめることができる。 d:生命の尊さ、子育ての意義について理解することができる。 ・子どもの心身の発達や子どもの生活についての知識を身につけている。	授業観察 ワークシート 体験レポート 発表態度、内容 定期考査

後期	衣生活をつくる	○衣服の素材を見てみよう ・衣服素材の種類 ・繊維の種類と特徴 ○衣生活の管理 ＊衣服の手入れ ＊被服実習（バンダナ作り）	○	○	○	○	a:自分の衣生活をとりまく状況について関心をもち、衣生活の改善・向上に積極的にとりくもうとする。 b:衣服材料・衣服整理についての基礎的な知識を身につけ、実生活での衣服管理において、適切な判断ができる。 現在の衣生活をとりまく状況について、自分の衣生活を振り返りながら、課題を導き出すことができる。 c:材料の選択、日常の衣服管理の方法を習得し、日常着の管理ができる。 d:衣服材料の性能と特徴、衣服整理についての科学的な知識を身につけることによって、衣服を適切に選択し、管理することができる。	授業観察 ワークシート 実習レポート 作品点 定期考査
	食生活をつくる	○私たちの食生活 ○栄養と食品のかかわり ・食品の栄養素とからだの成分 ・炭水化物とその食品 ・脂質とその食品 ・たんぱく質とその食品 ・ミネラルとその食品 ・ビタミンとその食品 ○食事の計画と調理 ・食事摂取基準と食品摂取量のめやす ＊調理実習	○	○	○	○	a:自分自身の食生活について関心をもつとともに、自分や家族の食生活について意欲的に改善・向上に努めようとする。 b:栄養の機能と食品のかかわりにおいて、科学的な思考を身につけ、食品選択、栄養計算や献立作成など、実際の食事づくりにむけての判断ができる。 c:栄養・食品・調理に関する基礎的な知識を生かしながら、献立を作成することができる。 d:食事の意義や役割、食生活をとりまく環境などについて、現代の食生活の課題が理解できる。	授業観察 ワークシート 実習態度 実習レポート 定期考査

	住生活をつくる	○人と住まいのかかわり ○住まいを計画する ・住空間の成り立ちと平面計画 ＊レイアウト課題 ○健康的な住まい環境 ・健康に配慮した快適な室内環境	○	○	○	○	a:住まいの機能、住空間の計画や住環境について関心をもち、快適な住まいづくり、よりよい住生活の創造にむけて意欲的にとりくもうとする。 b:ライフステージと住空間の設計の関係、住環境について考えを深めることができる。 安全な住まいづくりや、快適な住環境のためにどのような課題があるのか見つけることができ、その課題解決のための方策を考えることができる。 C:住まいの安全対策、住まいにおける健康管理など、実生活に役立てることができる。 d:安全で快適な住まいや、社会環境・地域環境についての知識を身につけ、現在の住生活の課題についても認識できる。	授業観察 ワークシート 提出課題定期考査
	経済的に自立する	○経済のしくみを知る ・家庭経済とは ・契約の重要性を学ぶ ○ライフステージと経済計画 ・独立して暮らす ・人生設計と経済設計	○	○		○	a:自分の経済的自立を考えながら、家庭経済・国民経済のしくみや家計の特徴について、積極的に理解しようとし、短期・長期の経済計画について意欲的にとりくもうとしている。 b:現在の経済社会と家計との関係、消費者のしくみを理解しながら、家庭の収入・支出・預金などについて、適切な考えをもち、判断ができる。 c:短期・長期の経済計画に関わる実習を通して、経済的な側面から人生設計を組み立てることができる。 d:家庭経済・国民経済などのしくみについて理解でき、短期・長期的経済計画の重要性を認識できる。	授業観察 ワークシート 定期考査

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現　c:技能　d:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において得に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。